

●工事状況

4月より続いていた各フロアの撤去工事が最終段階を迎えています。低層階から順番に解体していき、上層階でも天井や壁などの撤去が終了し、皆様が見たことのある病院内よりも広い空間となりました。低層階では地下1階から順番に床・躯体の補修作業や、先月のヒトワザでも紹介した墨出し作業を開始しており、9月からいよいよ内装工事へと移行して行きます。

9月に入ると8月よりは少し気温が下がるかと思いますが、まだまだ暑さが続きます。油断せず体調に気を付けながら作業して行きます。

代表写真《3号館 地下1階床補修完了状況》



●ヒトワザ！

8月は右写真に写っている「ロボット犬」という機械を現場にて自走させました。

このロボット犬は何を行っているかという、3Dカメラでの撮影を行っています。ロボット犬で撮影した「Matter Port」というシステムでは3Dの映像だけでなく、その3Dデータ上で距離の測定が可能となります。また、床の平面度を測定できる機能もあります。基準高さとして測定箇所のピッチを設定すれば測定ができ、床の精度は0.1mm単位で測定可能です。

ロボット犬について…



↑ロボット犬による取得データ

←ロボット犬

●工程	令和6年	工事進捗率	7.6%
	8月	9月	
3号館内装工事	B1階・1階・2階・3階 躯体・床補修	3階・4階・5階・6階・7階 躯体・床補修	
3号館解体工事	4階・5階・6階・7階・8階・9階 内装解体	各階 内装解体・最終確認	
設備工事	5階・6階・7階・8階・9階 天井内設備配管撤去	各階 天井内設備配管撤去・最終確認	

●GLOBAL CAFE《風鈴》

皆さんは日本の夏と言えばどんなイメージをお持ちでしょうか。

当現場では日本の風物詩とも言える風鈴を現場休憩所に設置しました。猛暑続きの中ですが、風鈴の音色を聴き、涼しさを感じています。

風鈴の発祥ですが、中国から仏教と共に遣唐使によって日本に伝来したという歴史があります。

仏教徒の国 ミャンマーでもパゴダ（仏塔）に一年中風鈴が飾られています。日本とミャンマーは風鈴を通して文化的につながっているのかもしれないね。



←現場の風鈴

ミャンマーの風鈴→



ニンより